

第 1 回橿原北やまこども園開園に向けた三者協議会 会議録

日 時：	令和 7 年 5 月 30 日（金）10：00～11：20						
場 所：	耳成西幼稚園 2 F リズム室						
出席者：	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50px; text-align: center;">保 護 者</td><td>耳成西幼稚園 保護者代表 2 名</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">法 人</td><td>生田理事長</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">市</td><td>池田部長、村井田副局長、吉川副部長、岩本課長、吉村指導主事、西迫</td></tr> </table>	保 護 者	耳成西幼稚園 保護者代表 2 名	法 人	生田理事長	市	池田部長、村井田副局長、吉川副部長、岩本課長、吉村指導主事、西迫
保 護 者	耳成西幼稚園 保護者代表 2 名						
法 人	生田理事長						
市	池田部長、村井田副局長、吉川副部長、岩本課長、吉村指導主事、西迫						
資料：	・ 次第 ・ 公私連携幼保連携型認定こども園「橿原北やまこども園」の開園に向けて ・ 橿原北やまこども園 第 1 回三者協議会資料						
1. 開会	部長より挨拶						
2. 説明 （市）	資料『公私連携幼保連携型認定こども園「橿原北やまこども園」の開園に向けて』に基づき説明						
3. 説明 （法人）	理事長より挨拶 奈良市でこども園を 2 園、保育園を 1 園、大和郡山市でこども園を 5 園、計 8 園を運営している。その中で、公私連携と言う枠組みで運営しているのは、奈良市のこども園 2 園と保育所 1 箇所になる。橿原北やまこども園を開園すれば、公私連携という枠組みで運営する園は 4 園になる。8 園の園を運営しているが、なぜ沢山の園を運営しているかという、自分が小さい頃から受けてきた教育に少し疑問があり、保育園や幼稚園では、子ども達は主体的な活動を通してのびのび育っていくのに対し、小学校に進級した段階で一斉教育になり、沢山の人数で机に向かって、教科書を基にした暗記中心の学習になる。自分自身、そのような学習に慣れない部分があり、その教育を受けて子ども達が育っていき、最終的には良い大学に入り、良い会社に就職する事が目標と、小さい頃から言われ続ける事に、しんどさや違和感があった。折角、保育園や幼稚園ではのびのびと活動していたのだから、小学校、中学校に進んでも、主体的な自ら学ぶ活動を継続していけたらと考えており、将来的な夢として小学校を作りたいと考えている。保育園や幼稚園で育った子ども達の受け入れ先となる小学校を作りたいという想いで、沢山の園を運営させていただく事になった。私の地元が橿原市である事もあり、その橿原市で民営化に携わらせていただくという事は光栄であり、緊張もしているが、しっかりとやっていきたいと考えている。 理事長より資料『橿原北やまこども園 第 1 回三者協議会資料』に基づき説明						

4. 質疑	以下のとおり
保護者代表	外部の先生を呼んでの習い事のような取り組みをされていると聞いているが、具体的にどのような内容を考えているか。
法人	まずは、公立幼稚園の教育内容を引き継ぐ事を最優先とは考えているが、今、運営している他園で取り入れていることで、個人的には新しい園でもやりたいと考えている事は、体育教室。専門の体育講師を呼び、楽しく運動遊びを行っている。運動遊びの際の補助の方法を職員も学ぶことができ、運動の幅が広がり、援助の仕方も学ぶことができる。最初は、公立幼稚園の教育内容を引き継ぎ、Instagramや広報誌等で運営する全ての園の情報を発信しているので、そのような情報を見た保護者の方からの、「こんな取り組みがあったらいい」と言うような声を聞きながら、「このような取り組みはどうですか」と言うような提案をさせてもらっている。 最初からやってみたいという気持ちはあるが、保護者の声を聞いてからにしている。その他は、ネイティブの英語教師が各園に1名、勤務し子どもたちと一緒に遊び、給食を食べ、寝かしつけなどの保育補助もしている。子どもたちが英語に触れあいながら毎日を過ごしており、英語教師が入るまでは、職員自身も「多様性」という言葉を日本という狭い枠の中で考えていたが、英語教師が入ってからは、世界基準での「多様性」を考えるようになり、子どもたちも、肌の色が異なったり、習慣や風習が異なる事を自然と学んでいっている。これも、本当は私自身はやりたい事ではあるが、まずは、公立幼稚園を引き継ぐ事を大切にし、信頼関係をしっかり築き、「他の園でやっている取り組みをやって欲しい」という声が出てきてからやりたいと考えている。
保護者代表	新しい園についての話を聞き、自分の子どもを通わせたい、楽しみという気持ちが率直な感想。工程表の令和8年に書かれている開発工事というのは、具体的にどのような工事になるのか。
法人	敷地の形状を変えるような工事をする際は、開発許可申請を提出する必要があるが、許可が出るまでに日数がかかる。工事が簡単であっても、申請等の手続きに時間がかかるため、日程的に余裕をもって取っている。現時点では、開発工事が必要かどうかは微妙なところであり、必要かどうかの判断は行政が行う。これから設計も実施していくが、必要がなければよりスムーズに進むことになる。
保護者代表	バスでの送迎についてだが、以前の説明会で、耳成西幼稚園に集合しバスで新しい園に連れて行くという話になっていたが、降園時もバスを出してもらえるのか。
市	送迎なので、送りも迎えもさせてもらう。現在、真菅北小学校区の方を対象に真菅

	北幼稚園跡地から耳成西幼稚園間の送迎のバスが走っている。それが、新しい認定こども園が開園すると、耳成西小学校区の方を対象に、耳成西幼稚園から新しいこども園間の送迎バスを走らせることになる。
保護者代表	前の説明会では、お仕事されている方などから 1 便だけでは困るという意見があったと思うが。
市	現在、登園時 2 便、降園時 2 便のバスが走っている。登園時は 8 時集合の便と 8 時 40 分集合の 2 便、降園時は 14 時半、16 時半の 2 便を走らせている。
保護者代表	令和 9 年からの便も同じように走らせてもらえる予定なのか。
市	同じようにバスを走らせることを考えている。
保護者代表	近隣の公立園にもバスを走らせると言われていたと思うが、そちらも同じように 2 便が走るのか。保護者から声が上がっており、もし、新しいこども園が合わなかった場合に、受け皿として公立園を考えておられる。
市	近隣の公立園について、まだ真菅幼稚園なのか耳成幼稚園なのかは決定しておらず検討中であるが、候補になる公立幼稚園は 8 時 40 分から 14 時 10 分、預かりは 16 時半までになるため、朝は 8 時から保育をしていないため、1 便になると思う。降園時はニーズを踏まえて 2 便が必要か検討していく事になる。現在、走っているバスもニーズ調査の結果を踏まえて、時間を決めて走っているため、ニーズ調査をした結果を見て決めていく事になる。
保護者代表	ニーズ調査の時にはニーズがなかったとしても、5 年後や 6 年後などにニーズがあったら再検討してもらえるのか。心配しているのが、一度なくなってしまったら、二度と復活しないという事が怖い。我が家にも 0 歳の子がいてるが、将来的にその子を通わせる時に、ニーズがなくなったために完全に廃止しており、復活の予定はありませんと言われる事が不安。
市	そこは、一旦なくなったから、ずっとないのではなく、保護者の方の意見を常に聞きながら、話し合いもしながら決定していく事になる。
保護者代表	新しい園ができる事で、公立園でできていた事ができなくなったらどうしようとか、マイナス要素を考えて心配されている保護者が多い。そこで、理事長に聞いてみたいのは、保護者が特に不安に思っておられる事は、どんな事だと思うか。

法人	今までの経験から、何が変わるのかという不安を抱かれる方が多いと思う。いくら、こちらが「変わらない」と言っても、「変わらない」のイメージは人によって違う。人によっては、本当に些細な事でも変わる事が嫌と言われる方もいてるし、逆に楽観的な方もおられた。まずは、可能な限り同じように運営していきたいと思っている。また、職員についても、引き継ぎの事もあるので子どもの様子などを良く知ってくれている市の会計年度任用職員の方に、転籍してもらえないかお声がけし、残ってもらうように考えてはいるが、先生も変わる事になるため不安を感じる方もおられるし、そこは「変わらない」と言っても職員は変わる部分ではあるため、しっかりと信頼関係を築いていく必要があると考えている。また、園運営とは離れるが、PTA 活動についても、どうなるのかと不安に思われている方もいた。保育所型利用の保護者が PTA 活動に参加をしたりお手伝いをしてくれるのかと不安に思われていたが、そこは、園側も指図できる部分ではないため、園も一緒にあるべき姿を考え、相談しながらやってきた。人によって不安のレベルが異なるため、丁寧に関わる事で信頼関係を築いてきた。奈良市ではいくつも民営化が進んでおり、2 例目、3 例目になってくると、保護者の方も知識があるため、それほど不安も大きくなかったように思う。しかしながら、橿原市では 1 例目となるため、保護者の方の不安も大きいと思うので、丁寧にに関わり、心配事を払拭していけたらと考えている。そのためにも、話して納得してもらうより、実際運営している園を見学してもらい、子どもの姿を見たり、園長の話を聞いたりしてもらえたら、不安も減るのではと考えている。
保護者代表	今までの説明会の資料でも書かれているが、「希望者が多数の場合は保育の必要性の高い方からの入所になる」と書かれている。発達や発育が理由で私立幼稚園に受け入れてもらえなかったお子さんを持つ保護者の方にとって、最終的なセーフティネットが公立幼稚園であり、それがなくなる事がとても不安である。実際に少人数の公立幼稚園に通い、のびのびと過ごす事ができて通わせてよかったと感じている方がいてる。そういった子どもを持つ保護者は私立よりも公立の方が多いと思う。そういった子ども達が、民営化によってどうなるのか。保育の必要性というのは何なのか。介助が必要であったり特別な配慮が必要であれば受け入れてもらえるのか、逆に排除されるのか、その辺を不安に思われている保護者が多い。 僕の意見ではあるが、私立は保育にプラスアルファを用意して、独自性を出す事は良いと思うが、公立はそこに通えない子ども達のセーフティーネットであるべきだと思っている。そこも、新しい園に引き継いでもらいたいという想いがある。この事について、理事長の意見を聞きたい。特別な配慮が必要な子ども達にとって、他園だとできないけど、理事長の園だとこんな事ができるよとか、何か想いとかあるか。
法人	運営している園では、特別な支援が必要なお子さまについて、拒否などはした事は

	ない。医療的ケアが必要なお子さまで、看護師がおらず対応ができない場合はお断りをした事があるが、看護師がいてる園については、医療的ケアが必要なお子さまも受け入れており、実際に、現在 1 名受け入れている。支援が必要なお子さまについては、奈良市と大和郡山市の園では、診断が出ているお子さまも疑いのあるお子さまもいてる。各園で 10 人以上いてるので、入園を希望されたら面接し、入園いただいており、ご心配のないような形で運営できていると思っている。ただ、加配の人数については、職員の人数の都合があるため、入園にあたって、加配を付ける事は難しいと説明させてもらう事はある。最近、施設整備をした昭和やまこども園でも、支援が必要なお子さまが沢山いてるので、そのようなお子さまに、どのようなアプローチをして、どのような保育の計画を立てていったら良いのか専門的な資格を持った方々に聞いた方が良いため、療育支援の施設に園から通われているお子さまについては、その療育の施設の方々と打ち合わせをし、保育の支援の仕方などについて、絶えず話をして、自分達の保育に役立てるようにしている。昭和やまこども園では、ホールに揺れる感覚を楽しめる遊具を設置し、療育的な保育ができるように準備をしている。園庭にも、最近はブランコのような遊具が少ないため、スウィングする遊具を設置している。施設の中では、窪みを作り、お子さまが一人になりたい時に、一人になれるような場所を作っている。橿原北やまこども園でも取り入れていきたいと考えている。
保護者代表	公立幼稚園しか行けないお子さんとか、多動とかの理由で他の園に受け入れてもらえなかったお子さんをお持ちの保護者の方が、安心して通わせたいと思える園にして欲しい。そういった方々への配慮であったりなど、今までの公立の職員達がしてきた事を引き継いでもらいたいと切に願う。
法人	わかりました。法人として 8 園を運営しているが、その内 3 園は元公立保育園の園長が園長をしており、公立の状況等も良く知っている。その他にも子育て支援などの現場では、他にも 2~3 人の公立の元園長が在籍している。そういう方々と一緒に運営しているため、公立の良い所、民間の良い所のどちらも取り入れて運営しており、子ども達が不利益を被らないように心がけて運営している。
保護者代表	橿原北やまこども園には、橿原市の職員はいないという認識でよろしいか。
法人	橿原市の職員、公務員という立場の人はいない。会計年度任用職員の方の転籍はあり得るが、正規の職員の方の転籍はないと考えている。
保護者代表	是非、奈良市の園に見学に行きたいと思うので、よろしくお願いします。
法人	橿原北やまこども園について、どうなるかは未定だが、元公立園の園長を配置で

	きるかもしれないし、できないかもしれないが現在、検討しているところである。
保護者代表	耳成西幼稚園では、行事として、近隣の社会福祉の団体である「かがやき会」のシニアの方々と園児との交流を行っており、地域の方々の憩いの場であったり生きがいになっていたりする。「かがやき会」の方達も、園の運営が変わったら、子ども達との交流がなくなってしまうのではないかと不安に思われている。今までやってきた地域との交流も引き継いでもらえるのか。
法人	民営化した園については、すべて地域との関わりも引き継いでいる。実際に、地域の方々がお花を植えてきてくれたりしている。
保護者代表	耳成西幼稚園は「かがやき会」との交流を持っているため、「かがやき会」との交流も引き継いでもらい、保護者を安心させて欲しい。
法人	また、ご紹介いただけたらと思う。
保護者代表	奈良市や大和郡山市で園を運営されているが、やりたかったけども市の方針等でできなかった取り組みはあるか。また、今までやっていた取り組みで、橿原市でやろうとして橿原市に止められてできない取り組みはあるか。
法人	どちらもない。
保護者代表	今までやってなかったけども、新しく取り組みたいと考えている事はあるか。
法人	現在、法人として、国際的な視野を持てる子どもを育てたい、子ども達が主体的に探究的な学びをできるようにしたいと考えている。国際バカロレアというものがあり、そこでプライマリー・イヤーズ・プログラムという 3～12 歳までの教育プログラムがある。簡単に言うと、スポーツ系の国際団体である国際オリンピック協会がスイスにあるが、それと同様に教育の一番大きな世界的な団体である国際バカロレアという団体がスイスのジュネーブにある。そこの教育プログラムの認定校になるため、やまとこども園、やまとこども園 mimi、鶴舞やまとこども園、西大寺北こども園、やまとこども園 chouchou の 5 園が候補校として活動している。何かが大きく変わる訳ではないが、3～5 歳の子どもの育ちの面で、子ども達が色々な視点を通して自ら考え、この変化の大きい時代に自分の力で育っていけるようなプログラムになっている。奈良県では、中学と高校では私立の育英西中学・高校が認定校になっている。奈良市二名町にある国際中学・高校が認定校になろうとしておられる。小学校を作りたいというお話をしたが、小学校を作る事ができると 3 歳から 12 歳までの国際バカロレアのプログラムを取り入れる事ができ、奈良県内で高校を卒業す

	るまで国際バカロレアを一体的に学ぶ事ができるため、小学校を作りたいと考えている。文部科学省も国際バカロレアを広めるために、IB 教育推進コンソーシアムを設立し、国内でも約 200 校が認定校になっている。国際バカロレアとは、教育を通して、この不安定な紛争も起きている世の中を、教育の力を通して世界平和を実現したいという教育理念や目的を持って活動している団体である。10 の学びの姿があり、例えば「挑戦する人になりましょう」、「心を開ける人になりましょう」というような 10 の姿があり、そういった方針に基づいて日々の保育活動の中に国際的な視野も取り入れながら子ども達を育てるという事を、皆様に届けたいし、やりたいという気持ちが自分の中にはある。ただ、これは保護者への説明会を行い、ワークショップを行い実際に子どもたちがどのような学びをするのかという事を体験してもらい、理解を得てから 5 園ではスタートしている。樫原北やまこども園でも取り入れたいなという気持ちはある。
保護者代表	探究的な学びや、論理的な思考回路、生き抜く力というキーワードでプログラミング教育があるが、これは英語教育と一緒に、取り組みとして導入を検討されているか。
法人	プログラミング教育は、今のところ視野には入っていない。
保護者代表	本日、私達は保護者の方、PTA の方の疑問等を集めてお話ししている訳ではない。本当に一部の人の声を聞いただけなので、本日聞かせていただいた理事長の想いなどを他の保護者と共有し、意見を募って疑問や意見を伝えさせてもらえる機会を作ってもらいたいと思っている。
市	この三者協議会も、また開催させていただきますし、保護者の方で出席したいという方がおられれば、何名でも参加してもらう事は可能。ただ日程調整が難しくなるので、そこはご理解いただきたいが、参加いただく事は可能なので、保護者の方々にお声がけいただけたらと思う。
保護者代表	現在、園にお子さんを通わせている保護者だけではなく、園が開園する令和 9 年にお子さんを通わせることになる保護者の方が一番気になっていると思う。他にも、実際に療育に行かれて不安を抱えている保護者の方に、「理事長に声を届ける事ができる」という事を伝える事ができたらと思う。PTA としては、実際に通われている保護者には伝えることはできるが、令和 9 年に通う事になる方は把握できないので、その方々に伝える機会を考えてもらえたらと思う。
市	実際にそういう方がおられれば、市に言ってもらう事も一つですし、我々も何らかの形で考えていきたい。

市	実際に令和9年度から入園を考えている方はおられると思うので、可能であれば、その方々にも参加してもらいご意見をいただけるように、方法を考えていく。
法人	色々とやりたい事は沢山あるが、まずは「耳成西幼稚園と真菅北幼稚園で行われてきた教育活動をしっかり引き継ぐ事、そこを一番大事な目的として、信頼関係を築いていきたいと考えている。そこが一番大事にしている事である」と、他の保護者の方々に伝えてくださる機会があるのであれば伝えていただきたい。
市	次回は年明け頃に三者協議会を開催したいと考えているが、保護者の方から、もっと早くにこういう場を設けて欲しいという意見があれば、こども政策課に連絡願う。
5. 閉会	議事録については、事前に出席者の皆様に確認いただいた上で、本日の資料とともに公表する旨伝え、終了。